



30

「うんうん」「びびび」で 今日も楽しく〜！

貞山小学校

昭和48年に開校した貞山小学校は、市内で唯一、中学校(山下)、高校(石巻工業)と隣接している小学校です。児童数は293人(11月1日現在)で、敷地内には多くの樹木が植樹され、四季の移り変わりを子ども達に教えてくれます。

貞山小学校では、「毎日学び、心豊かで、たくましく生きる子ども」の育成(子ども達には分かりやすく、「うんうん」で笑顔と思ったり、「びびび」で元気づけたり)「何かで人よりがんばろう」と話しています(を)を目指し、さまざまな工夫を凝らした取り組みを行っています。中でも「楽しい」「分かる」「力の付く」授業をテーマにした「できたこと発表会」は、学年ごとに四字熟語の暗記やけん玉など遊び感覚も取り入れた課題に取り組み、その成果を授業参観日に発表するもので、子ども達一人ひとりのやる気と意欲を向上



たがまわしの様子(貞山まつりより)

させ、やり遂げた後の充実感を実感も味わってもらうのがねらいです。ほかにも、学

力の定着と向上のため、国語と算数の授業時間を増やすなど意欲的に取り組んでいます。また、環境面の利点を生かし、隣接する中学校・高校からそれぞれ、鼓笛隊への演奏指導や、本の読み聞かせをしてもうつなど学校間の交流も盛んです。月に一度の業前の児童集会では、子ども達と先生が協力していろいろな行事を企画したり、PTA行事最大のイベント「貞山まつり」では、地域の皆さんも参加して楽しい一日を過ごすなど、子ども達と大人が触れ合う機会も大切にしていきます。

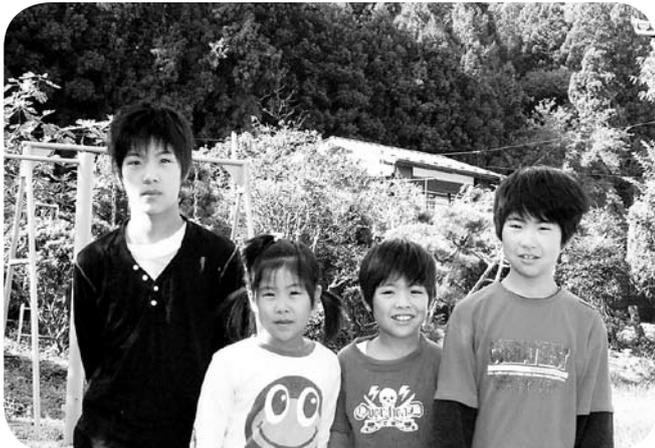
校長室には、子ども達が描いた校長先生の似顔絵が飾られており、「うんうん」「びびび」の言葉が添えられています。取り組みの成果が子ども達にも伝わり、校長先生にとって最高の贈り物となっているようです。



タイミング良くジャンプ！(児童集会での長縄跳び)

にぎやか家族 33

北上町女川



写真左から、元気くん、未来ちゃん、和気くん、勇気くん

《将来の夢》

- | | | |
|----|-----------|-------------|
| 武山 | 元気くん(12歳) | お父さんの仕事(酪農) |
| | 勇気くん(11歳) | お父さんの仕事(酪農) |
| | 未来ちゃん(9歳) | 小学校の先生 |
| | 和気くん(9歳) | アシカショーのお兄さん |

〈お父さんから〉

人の話の聞ける人間になって欲しい。

今月の表紙から

甘味たっぷり、プリプリとした歯ごたえのあるホタテは、老若男女を問わず人気があり、刺身や網焼きのほかにグラタン、フライなど料理法は数えきれないほどあります。ホタテは、学名をホタテガイといい、海中を船が帆を立てているように泳ぐので帆立と名づけられたと言われています。

一般に出回っているのは北海道噴火湾、青森陸奥湾、若手県と宮城県沿岸の養殖物で、その多くは、貝殻のすみに穴を開けてヒモで吊り下げる耳吊り式と、網状のカゴに入れて海中に吊り下げる垂下式の2種類があります。

今回は、10月下旬に雄勝町立浜地区の末永さんを訪れ、養殖だでの収穫作業取材しました。この時期は収穫と耳吊り作業が同時に行われる大変忙しい時期で、10月から2月が最盛期ですが、年間を通して収穫されてい

ます。また、こは、ホタテ養殖の最南限であることが、とても貴重なことです。

勝紀さんは「親子(家族)一緒に仕事ができるのが、何よりうれしいことです。仕事をしながら信用されるものを作りたいです。養殖は、生産者がルールを守って、みんなから信用されるものを作りたいです。養殖は、生産者がルールを守って、みんなから信用されるものを作りたいです。養殖は、生産者がルールを守って、みんなから信用されるものを作りたいです。



末永勝紀さん・雄一さん(雄勝町立浜地区)



サークル仲間

なかま 38

身体も気持ちもスツキリ!

荻浜エアロビクス愛好会

荻浜エアロビクス愛好会は、以前、荻浜公民館で行われたエアロビクス教室がきっかけで、平成17年に設立しました。

現在、会員は10人、主に第2・第4水曜日の月2回、午後7時から荻浜公民館で心地よい汗を流しています。

設立当初から指導にあたるインストラクターの志子田友子先生(大街道在住)は「月2回ですが、皆さんと顔を合わせるのがとても楽しみで、私が皆さんから



元気をいただいています。皆さん楽しく汗を流し、リフレッシュしていただけているのが、何よりうれしいですね」と話していました。

この日は、新たに体験したいという方も加わり、軽快な音楽と先生の元気な掛け声がホールに響き、それに合わせ、笑顔で身体を動かしていました。

会員の方は「気分転換に最高! ストレス解消!!」 「エアロビクスの後は、身体も気持ちもスツキリして、夜もぐっすり眠れます」と話していました。

代表の大山美耶紀さんは「会員は、男性もいて、年齢層に幅があり、職業も違うけど、和気あいあいとした雰囲気の中、みんなで爽快な汗を流しています。興味のある方は、ぜひ、エアロビクスを体験してみませんか」と話していました。

長寿のひけつ



朝・昼・晩しっかりと食べて
規則正しい生活が健康のひけつ!

梶原 良 勝さん(河北地区成田)
今回は10月22日で100歳を迎えられた梶原さんを紹介いたします。

梶原さんは、明治41(1908)年、桃生郡橋浦村で10人兄弟の三男として生まれました。

尋常小学校を卒業後、近隣の大工の親方に見習いに入り大工仕事を始め、27歳で結婚し、2男3女の子宝に恵まれました。

昭和16年、33歳の時に大工の仕事をしながら、副業として警察署長の運転手をしました。当時、車を運転することとはとても珍しかったそうです。

また、若いころからおしゃれで、出かけるときには決まってネクタイとベレー帽をかぶり、自転車に乗ってそっちょこつちと出掛けていたそうです。

昭和43年、60歳で大工を辞め、豆腐の製造・卸業を始め、85歳まで続けました。

97歳までは、自転車に乗ってゲートボールに行ったり、老人クラブで旅行に出掛けたりしていました。

98歳の時、大腸炎で入院してから、足腰が弱くなり車イス生活となりましたが、元気に毎日の生活を楽しんでいます。



「これまでの人生で一番嬉しかったことは?」と尋ねてみると、「子ども達が皆、楽しく生きられることが自分の楽しみ」と心えてくれました。
好きなことは「日に3度のごはん」で「酒を飲まず、たばこを吸わない規則正しい生活」が長寿のひけつですよ。